



かわぐち合唱団ニュース第22号 2017、3.1

かわぐち合唱団 代表 小川喜也

「旅」の音取りと文化祭の曲の練習！！

2月22日の練習から：指揮者をよく見ること！！（矢ヶ部先生が何度もおっしゃっていた言葉）

（旅）の音取り：津留崎先生と「旅」の音取りをアルトを中心に1～5までやりました。音取りも楽しいです。

（待ちぼうけ）・「ま」はmをきかせ大きめにはっきりと出ること。「ち」の音もだすこと。ぼやけない事。

・（待ちぼうけ～ころりころげたきのねっこ）は、p～mf～p～f～mfの差をつけて。

・（うさぎぶつかれ きのねっこー）は、「うさぎ」の「う」をはっきりと。大きめに。

「きのねっこ」の「き」の縦をそろえること。

・（しめたこれから寝てまとか）は、「し」をはっきりと。

・（うまいきりかぶー きのねっこー）は、遅くならない。おなじテンポのまま。

（浜辺のうた、）・（あしーたーはーまーペーをさーまーよーえーばー）の「あ」は、早めにブレスして、余裕をもってでること。ここは、ブレスしないで歌う。

・波隊は、最初の音をしっかり出し、もやっとなないように。

・p34の（あしーたーはーまーペーをー）の入り方は遅くし、ふりなおすので、指揮を見る事

・p35の（むかーしーのこーとーをぞーしーのーぼるるー）は、「む」と「し」をたてる。

「む」の延長線上に「か」があるように音にする。

・6拍子のリズムが遅くならないように。2拍目と5拍目を進める感じで。

（Tantum Ergo）・ラテン語の言葉の処理を共有する。子音を聞かせ、母音を音符に乗せる。

・出だしの（Tantum ergo）の「Ta」は口をしっかりと開けて出ること。

・p29の（アーメン）は、歌詞を入れる場所を間違えない事。

・Spへ：抜いて歌わない事。

（虹と雪のバラード）・理想的に出るためには、呼吸の準備が大切。

・子音を前に出す。



★ 団員からメッセージ：Kさん

一生感動、一生青春 これは1991（H3）年67歳で亡くなられた相田みつをさんの著書の書名でもり、あり、最も好まれた言葉でもあります。

これと同じ様な意味で、アメリカの詩人サムエル・ウルマンの「青春とは、ある期間を言うのではなく、心の持ち方を言う・・・年を重ねるだけでは人は老いない。理想を失う時、はじめて老いる。」と言っている。感動こそ、人間が人間として生きているあかしであり、合唱を通してすばらしい感動を、皆で作りに上げていきたいものです。

連絡：①3月5日集合、中央ふれあい館、相談室。（着替えてから10:30 練習開始）

（待ちぼうけ、浜辺の歌、Tantum Ergo、虹と雪のバラード）

②4月8日（土曜日）神社で演奏後、11時から13時まで総会。（中央ふれあい館、講座室3）